

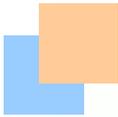
2006年5月期 中間決算説明会

2006年1月17日

COPYRIGHT(C)2006 MITACHI CO.,LTD ALL RIGHTS RESERVED

- I. ミタチ産業について
- II. 2006年5月期 中間決算概要
- III. 今期の業績見通し
- IV. 今後の方向性

本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。



ミタチ産業について

1. 会社概要

ミタチ産業株式会社

- 本社所在地 : 愛知県名古屋市
- 創業年月 : 1972年9月 (1976年7月、株式会社に改組)
- 資本金 : 5億2160万円 (05年11月末)
- 代表者 : 代表取締役社長 橘 至朗
- 従業員数 : 125人 (05年11月末、単体就業人員数)
- 事業内容 : 半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造
- 売上高 : 270億円 (05年5月期、連結)
- 経常利益 : 9.4億円 (05年5月期、連結)
- 当期純利益 : 5.4億円 (05年5月期、連結)

2. 主な取扱商品

ミタチ産業株式会社

商品分類	主な取扱商品
半 導 体	汎用半導体（トランジスタ、ダイオード、汎用IC等）
	LED、オプトデバイス
	システムLSI（ASIC、カスタムIC、CPU等）
	パワー素子（IGBT、パワーMOS等）
液 晶	液晶モジュール
電 子 部 品	固定抵抗器、可変抵抗器
	コンデンサ
	コネクタ
	スイッチ
	水晶振動子、発信器
ユニット・アセンブリ	組付加工（受託加工）全般
	超小型ボードコンピュータ「MIU Card」
そ の 他 （産業機器、コンポーネント、他）	産業用ロボット（チップマウンター等）
	モーター
	GPSモジュール
	ハードディスク

2

3. ミタチ産業グループの概要

ミタチ産業株式会社

ミタチ産業グループは国内1社、海外4社の計5社にて構成されています。
今後も顧客ニーズにあわせ、グローバルな事業展開を図ってまいります。



ミタチ産業株式会社

半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造

M. A. TECHNOLOGY, INC.

オプトデバイス、自動車用電子基板のOEM生産

美達奇（香港）有限公司

電子部品・電子デバイス販売、調達

台湾美達旗股份有限公司

電子部品、電子デバイス販売、調達

敏拓吉電子（上海）有限公司

半導体・電子部品機器等の販売、電子機器等の受託製造

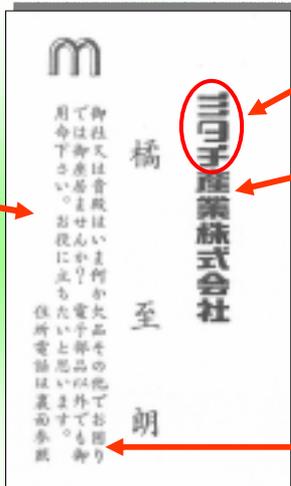
3

4. 当社の経営理念 (1)

ミタチ産業株式会社

脱サラで始めた会社「ミタチ産業」。創業の精神が当社のDNAです。

御社又は貴殿はいま何か欠品その他でお困りでは御座居ませんか？
電子部品以外でもご用命下さい



①お客様と仕入先を繋ぐ橋 (三位一体)

②産業であるから、当社は電子部品、半導体にとられない事業展開ができる

③お客様の問題解決

当社創業当時の名刺

4

4. 当社の経営理念 (2)

ミタチ産業株式会社

社員はミタチの経営哲学を胸に刻み、日々の業務を遂行しています。



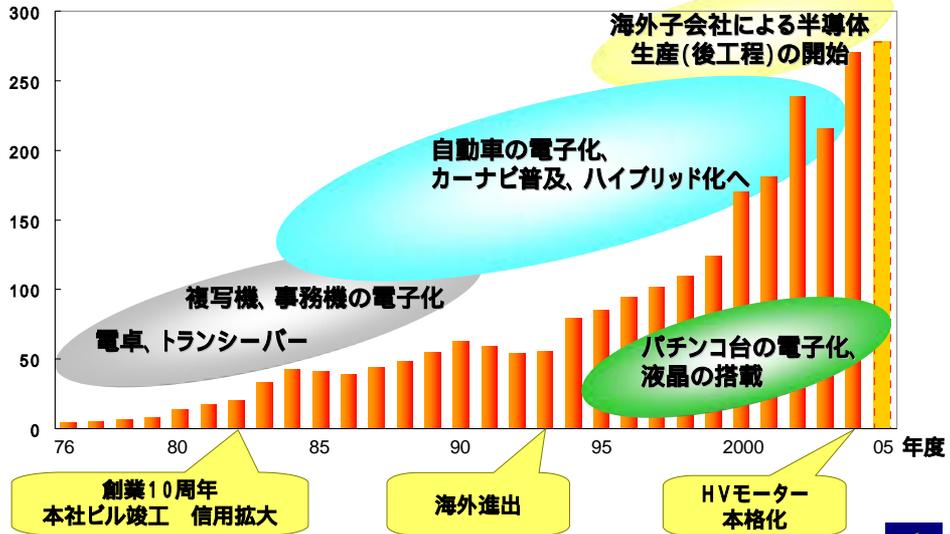
5

5. 事業の変遷および業績推移

三洋産業株式会社

当社は時代のニーズに合わせて自らを変革し、発展を遂げてまいりました。

(売上高:億円)



6

.2006年5月期 中間決算概要

1. 中間決算実績(1)

三日子産業株式会社

連結 中間決算実績

単位:百万円

	第28期 (2004年5月期)		第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)			
	上期	下期	上期	下期	上期	対前年 同期比	上期 期初予想	対期初 予想比
売上高	9,940	11,573	13,406	13,602	12,588	- 6.1%	13,600	- 7.4%
売上総利益	1,152	1,231	1,315	1,290	1,271	- 3.3%	—	—
営業利益	426	434	429	413	367	- 14.4%	370	- 0.6%
経常利益	432	394	483	463	420	- 12.9%	410	+ 2.6%
当期純利益	219	270	297	251	256	- 13.9%	240	+ 6.9%

売上高	<ul style="list-style-type: none"> 自動車業界はハードディスク、ハイブリッドモーター、EMSなどが堅調に推移 アミューズメント関連業界は、特に液晶関連のラインナップ不足から厳しい営業活動を余儀なくされる オプトデバイスの受注が減少
売上総利益	<ul style="list-style-type: none"> 原価管理の徹底、およびプロダクトミックスの変化により、売上総利益率が対前年同期比で0.3ポイント改善（第29期上期9.8%→第30期上期10.1%）。売上減による影響をカバー
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> 営業力強化に伴う人材拡充等により販管費が微増

7

1. 中間決算実績(2)

三日子産業株式会社

単独 中間決算実績

単位:百万円

	第28期 (2004年5月期)		第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)			
	上期	下期	上期	下期	上期	対前年 同期比	上期 期初予想	対期初 予想比
売上高	9,818	11,072	12,980	13,430	12,408	- 4.4%	13,400	- 7.4%
売上総利益	1,112	1,099	1,202	1,232	1,183	- 1.6%	—	—
営業利益	431	358	387	421	346	- 10.6%	360	- 3.8%
経常利益	460	374	437	479	397	- 9.1%	400	- 0.5%
当期純利益	223	242	255	284	234	- 8.3%	230	+ 2.0%

8

2. 部門別売上高（連結）

三洋産業株式会社

単位：百万円

	第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)	
	上期	下期	上期	対前年同期比
デバイス部門	9,422	9,274	8,553	- 9.2%
ソリューション部門	1,252	1,733	1,905	+ 52.2%
海外部門	2,259	1,860	1,893	- 16.2%
その他	471	734	236	- 49.9%
合計	13,406	13,602	12,588	- 6.1%

デバイス部門

・ アミューズメント向け液晶の受注は減少したものの、自動車向け受注は堅調に推移

ソリューション部門

・ 自動車および工作機械のEMS受注が好調に推移

海外部門

・ オプトデバイスの受注が減少

その他

・ 電子部品実装ラインが伸び悩む

9

3. 商品別売上高（連結）

三洋産業株式会社

単位：百万円

	第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)	
	上期 売上高	下期 売上高	上期 売上高	対前年同期比
半導体	4,127	4,619	4,531	+ 9.8%
液晶	2,333	1,947	802	- 65.6%
電子部品	2,015	1,700	1,724	- 14.4%
ユニット・アセンブリ	3,475	3,521	3,789	+ 9.0%
その他	1,454	1,813	1,741	+ 19.7%
合計	13,406	13,602	12,588	- 6.1%

半導体

・ 自動車向け半導体が堅調に推移

液晶

・ カーナビ向けは好調であったが、アミューズメント向けの落ち込みが大きくカバーできず

電子部品

・ アミューズメント向け受注が減少

ユニット・アセンブリ

・ 国内で組付加工している工作機械制御盤とカーナビゲーション制御基板が好調

その他

・ ハイブリッド自動車用駆動・発電モーターが好調を維持

10

4. 業種別売上高（連結）

三日月産業株式会社

単位：百万円

	第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)	
	上期 売上高	下期 売上高	上期 売上高	対前年同期比
自動車関連	5,312	6,159	6,293	+ 18.5%
アミューズメント関連	3,326	3,103	1,531	- 54.0%
その他	4,767	4,338	4,764	- 0.1%
合計	13,406	13,602	12,588	- 6.1%

自動車関連

- ・ 純正ハードディスクナビ向け「ハードディスク」、ハイブリッド自動車用駆動・発電モーター、カーナビゲーション制御基板などが堅調に推移

アミューズメント関連

- ・ 液晶受注が大きく減少

その他

- ・ 工作機械向けEMSは堅調に推移

11

5. 主要顧客別売上高（連結）

三日月産業株式会社

単位：百万円

	第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)	
	上期 売上高	下期 売上高	上期 売上高	対前年同期比
アイシン精機(株)グループ	3,931	4,962	5,098	+ 29.7%
シャープ(株)	1,815	1,580	1,622	- 10.6%
(株)大一商会グループ	2,773	2,018	520	- 81.2%
その他得意先	4,886	5,040	5,346	+ 9.4%
合計	13,406	13,602	12,588	- 6.1%

アイシン精機(株)グループ

- ・ カーナビ向けハードディスクの受注増
- ・ ハイブリッドモーターの販売拡大
- ・ 自動車向けEMSの増加

シャープ(株)

- ・ オプトデバイスの受注が減少

(株)大一商会グループ

- ・ 液晶関連のラインナップ不足により受注が減少

12

6. 商品別・仕入先別 仕入実績 (連結)

三洋産業株式会社

商品別 仕入実績

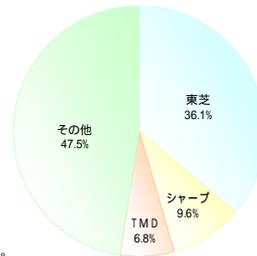
単位:百万円

	第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)	
	上期 仕入高	下期 仕入高	上期 仕入高	対前年同期比
半導体	3,647	4,284	3,948	+ 8.2%
液晶	1,860	1,350	912	- 50.9%
電子部品	1,831	1,544	1,467	- 19.9%
ユニット・アセンブリ	2,797	2,930	3,180	+ 13.7%
その他	1,415	1,755	1,521	+ 7.5%
合計	11,552	11,866	11,030	- 4.5%

仕入先別 仕入実績

単位:百万円

	第30期上期 仕入高 (2006年5月期)
東芝	3,984
シャープ	1,054
東芝松下ディスプレイテクノロジー	750
その他仕入先	5,241
合計	11,030



※ 東芝の仕入高には、デバイスリンク（東芝の代理店向け販売子会社）からの仕入高を含む。

13

今期の業績見通し

1. 2006年5月期業績見通し

三洋産業株式会社

単位:百万円

	第28期 (2004年5月期)		第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)	
	通期	中間期	通期	中間期	通期 予想	中間期
売上高	21,513	9,940	27,008	13,406	27,800	12,588
売上総利益	2,384	1,152	2,606	1,315	2,765	1,271
営業利益	860	426	843	429	860	367
経常利益	826	432	946	483	950	420
当期純利益	489	219	549	297	570	256

売上高	・自動車業界はハードディスクナビの標準装備増によりハードディスクの受注増が見込まれるほか、ハイブリッドモーター、EMSなどは引き続き堅調に推移する見通し ・アミューズメント向けは、新規大型液晶の受注により回復が見込まれる
売上総利益	・仕入コストの低減に努めるほか、売上回復に伴い改善の見通し
営業利益	・将来に向け人員拡充を予定しておりますが、売上総利益の増加によりカバーする見込み

14

2. 部門別売上高見通し(連結)

三洋産業株式会社

単位:百万円

	第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)	
	通期	中間期	通期 予想	中間期
デバイス部門	18,696	9,422	19,400	8,553
ソリューション部門	2,985	1,252	3,400	1,905
海外部門	4,120	2,259	4,200	1,893
その他	1,206	471	800	236
合計	27,008	13,406	27,800	12,588

デバイス部門

- ・自動車向けは引き続き堅調に推移
- ・アミューズメント向け液晶受注は回復する見通し

ソリューション部門

- ・自動車向け、工作機械向けEMS受注が堅調に推移

海外部門

- ・M.A.Technologyのオプトデバイスの受注回復を見込む

その他部門

- ・電子部品実装ラインの受注増を見込む

15

3. 業種別売上高見通し(連結)

三洋産業株式会社

単位:百万円

	第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)	
	通期	中間期	通期 予想	中間期
自動車関連	11,471	5,312	12,135	6,293
アミューズメント関連	6,430	3,326	6,207	1,531
その他	9,106	4,767	9,456	4,764
合計	27,008	13,406	27,800	12,588

自動車関連

・ カーナビ向けハードディスクやハイブリッドモーター、カーナビ基板の組付け等が、引き続き堅調に推移する見通し

アミューズメント関連

・ 新規大型液晶の受注により回復が見込まれる

その他

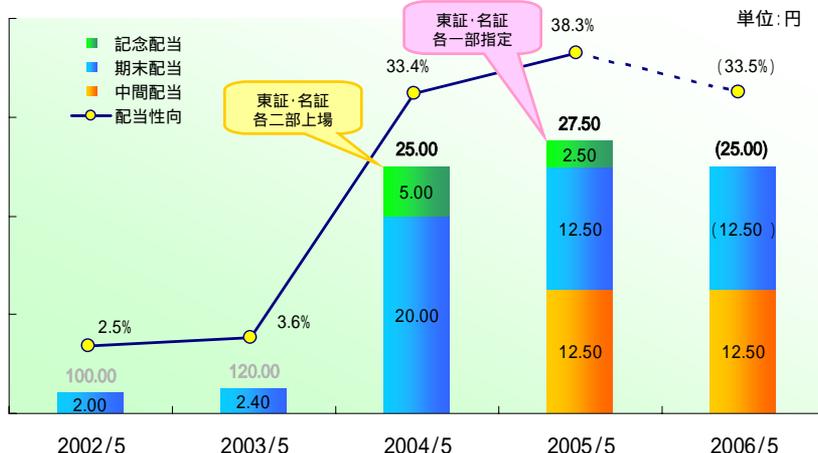
・ 工作機械向けEMSが引き続き堅調に推移する見通し

16

4. 配当政策

三洋産業株式会社

当社では財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考えており、配当性向は30%程度を目安としております。



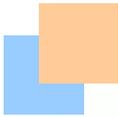
※ 2003年5月期以前の配当額は、2003年9月1付で普通株式1株につき50株の分割を行ったことに伴う修正値にて表記しております。

※ 2004年5月期は、東証・名証各二部上場記念配当を行っております。

※ 2005年5月期は、東証・名証各一部指定記念配当を行っております。

※ 配当性向は、ミタチ産業株の1株当たり配当額を、1株当たり当期純利益(連結ベース)で除して算出してしております。

17



今後の方向性

1. 今後の売上計画・目標

三日月産業株式会社

業種別売上計画・目標

今期は第30期という節目にあたります。
 当社グループでは今期を第2の創業期ととらえ、さらなる飛躍を目指してまいります。

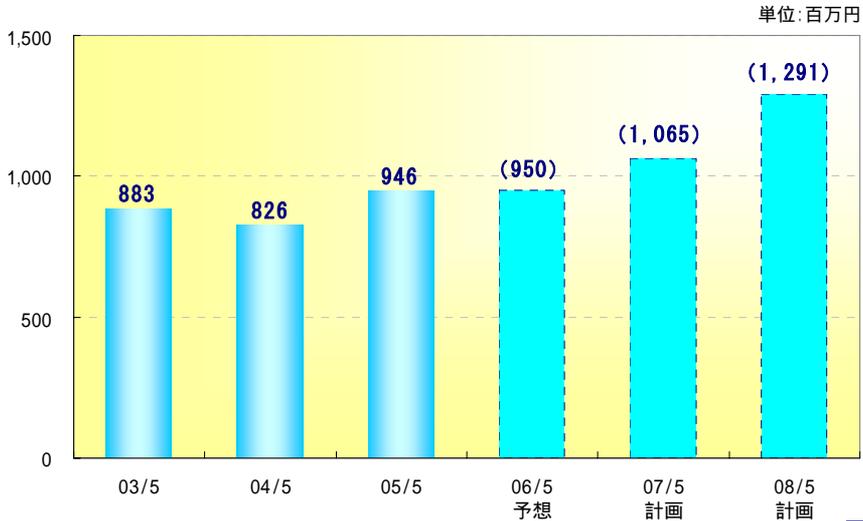


2001年5月期は連結しておりませんので単体売上高で表示しております。

2. 今後の利益計画

三洋産業株式会社

経常利益計画



19

3. 自動車業界向け拡販 (1)

三洋産業株式会社

今後の拡販要因

「カーナビゲーション市場の拡大」、および「ハイブリッド自動車の普及」を主要な要因として、今後も自動車業界向けの拡販を見込んでおります。



20

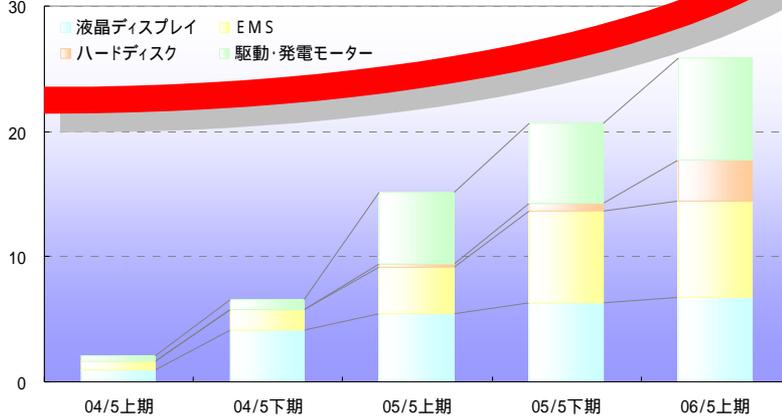
3. 自動車業界向け拡販（2）

三洋産業株式会社

自動車部品メーカー主要4社に対する特定商品の売上推移

カーナビゲーション、およびハイブリッド自動車向けの商品は好調な売上推移をみせており、今後もさらなる売上拡大が見込まれます。

単位:億円



主要4社 = アイシン精機(株)、アイシン・エイ・ダブリュ(株)、(株)東海理化、豊田合成(株)

「パワーデバイス」は現状受注実績が皆無のため、グラフ上の表記から省いております。

21

4. メーカー機能の拡充（1）

三洋産業株式会社

当社グループはメーカー機能の拡充により、「単なる商社からの脱皮」を図っております。これにより、対顧客の付加価値向上や利益率の向上につなげます。

M.A. TECHNOLOGY, INC.
(フィリピン現地法人)

【工場床面積】
約6,300㎡

【生産品目】
オプトデバイス、化合物半導体、車載向け
ボードアッセンブリ、プリンター用ハーネス等

年	M. A. TECHNOLOGY, INC. の主な沿革
1993年	フィリピンにおいて、シャープ(株)のリモコン受光ユニット加工業務を開始
1996年	フィリピンにおいて、電子部品機器の製造、加工を行う
2000年	M. A. TECHNOLOGY, INC. 第2工場竣工
2004年	M. A. TECHNOLOGY, INC. 第2工場を拡張(増床)



22

4. メーカー機能の拡充 (2)

三三子産業株式会社

Solution

(ソリューション事業)

【生産品目】

- ① 自社ブランド製品
ユニット製品、ソフトウェア関連製品
- ② OEM製品
ボード製品 (工作機械用制御基板、カーナビゲーション用制御基板、電磁調理器向けIHコイル、プリンター用ケーブル、カーエレクトロニクス用制御基板等)



「技術展」や「産業展」に積極的に出展を行い、ソリューション事業の拡大に努めてまいります

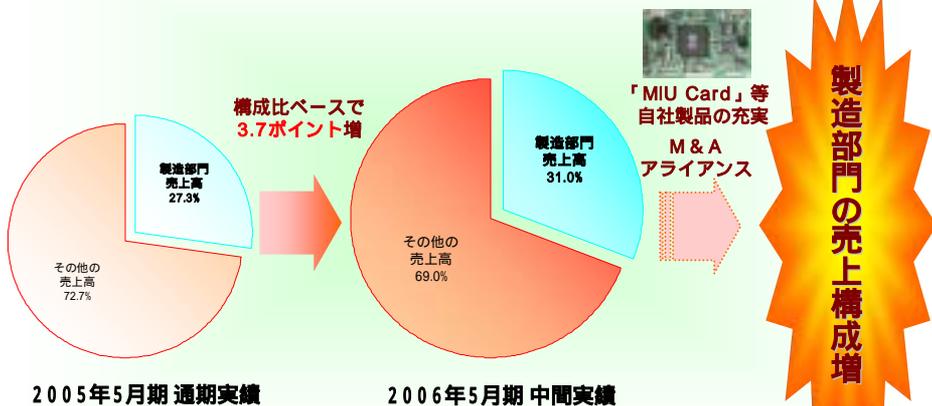


23

4. メーカー機能の拡充 (3)

三三子産業株式会社

当社グループは「MIU Card」といった自社製品の充実を図ると同時に、M & A やアライアンス等も視野に入れ、さらなるメーカー機能の拡充を図ってまいります。



※ 製造部門売上高は、「M. A. TECHNOLOGY, INC.」「ソリューション事業」「MIU Card」の売上高を合算して算出。

24



 **三ツ子産業株式会社**

<http://www.mitachi.co.jp/>